おがわぎかい

こどもまんなか
（東中学校編）
裏表紙に関連記事



＼必読！／
紙面で読む伝える

P.2 -3 令和７年度一般会計決算をチェック
「人」が「町」が「未来」が
輝くまちづくりは

P.10 -14 一般質問「８議員」の視点

P.15 シリーズ 16人の一歩
進み続ける議会 Vol.13



＼見応えあり！／
動画で見る魅せる

こどもまんなか
～東中学校編～



東中学校生徒会役員の皆さん

表紙に使用している画像は、できあがった和紙を染める「染紙（そめがみ）」です。今号は、和紙を小さく折りたたんで染める折染（おりぞ）めを編集委員らが行った中から選びました。

No.121
発行…埼玉県小川町議会
令和8年9月定例会
会期：9月1日～24日
2026．11．1 発行

令和７年度一般会計決算 歳入116億円・歳出111億円をチェック!

「人」が「町」が「未来」が輝くまちづくりは



予算編成時に町が掲げた「3つ」のまちづくり。議会は、各事業の費用対効果や継続性を審査し、予算が適正に使われたかをチェックしました。議会が寄せた「評価」と「期待」をピックアップします。

評価 移住者への補助金を創設

移住支援金 決算額 300万円

- 世帯で移住すると100万円
  （18歳未満の子どもがいると+30万円）
- 単身なら60万円
- 実績：３世帯６人が移住！



都内の移住イベントで小川町をアピール



Gikai's eye

「移住」から「永住」へシフト

移住実績を挙げたので評価は「◎」としたい。さらに目指すのは、地域への参画を促し、次世代を担う人材へつなげることだ。

評価 ママ！ひと休みしてください

産後ケア事業 決算額 169万8000円

産後の母子の心身のケアと育児支援

	実人員	訪問型	日帰り型	宿泊型
令和6年度	17人	3日	17日	31日
令和7年度	30人	1日	54日	29日

利用者の声
- 眠ることができ、育児に向き合うことができました。
- 授乳の悩みが相談でき利用してよかったです。





Gikai's eye

子育て支援の充実へ

令和7年度の出生数は63人、内30人の母子の利用があった。議会は、一人でも多くのママが安心して出産育児に臨めるよう、母子保健関係予算の獲得に努力する。



請求に対する迅速な支払いや収入漏れがないかなど毎日チェックし、間違いが起こらないよう二重、三重の確認体制で取り組んでいます。
今後も、迅速かつ正確な公金出納事務を心がけ、可能な限り経費削減に努めていきます。

久保会計管理者

次ページは「決算質疑」

期待 リニューアル初年度の道の駅

指定管理者からの納付金 決算額 400万円

- 売上額約８億円➡納付金400万円（指定管理者と協議中）
- 目標来場者数40万人➡実績66万人超（令和８年３月末時点）



Gikai's eye

にぎわいに見合った納付額に

リニューアル後、地元の農産物・酒・和紙製品などの販売は順調のようだ。一方で、伝統工芸施設の活用とPRには、さらなる工夫を求める。また、あくまでも暫定として示された納付金の在り方に不安が残る。決算審査を迎えるまで（出納整理期間内）に納付額が確定しなかったことは「課題」である。



にぎわう1周年記念・夜間営業

納付金の適正化等を要望

決算審査で明らかとなった暫定的な納付金について、町長へ要望書を提出。納付額を迅速かつ適正に確定することをはじめ、経営状況の透明性の確保や、施設ごとの収益に応じた納付金制度への見直しなどを求めました。

要望書の全文はコチラ

監査委員の意見（抜粋）《企業誘致 ・道の駅に期待》



議会選出監査委員 髙橋功人（たかはしいさお）

〈歳出〉
今後も歳出の増加が見込まれる。計画的・効果的な財政運営を進めるとともに、デジタル化による業務の高率化、健康増進による社会保障費の抑制等に取り組むことを求める。

〈歳入〉
税収の先行きは厳しい。国の財政措置を注視し、企業誘致など財源確保に取り組むとともに、道の駅の経済効果に期待する。



代表監査委員 福島崇晃（ふくしまたかあき）

私たちの町、どうなってる？

議員が質した 257のこと

決算審査は、各常任委員会に付託され合計4日間の詳細な審査を行い認定するか否か議員が判断します。特色のある事業をピックアップし、執行部との熱いやりとりの一部をお届けします。

一般会計決算

評価 緊急連絡通信システム 独り暮らし高齢者の安心は

管理委託料 224万9000円

Q システムを利用する場合どのような手続が必要なのか。

A 対象となる方は、高血圧や心疾患、脳血管疾患などにより日常生活において注意を要する外出困難な方で、単身世帯で65歳以上の方または身体障害者手帳・療育手帳を交付されている皆さんです。手続については、希望者の自宅に町職員が訪問し、システムの説明と体調や生活状況の確認を行います。その後、申請書と利用票を提出してもらい、決定後に警備会社が設置します。

Q 設置後の活用の仕方は。

A 電話回線に接続する緊急通報装置を設置し、ボタンを押すと、24時間体制でセンターに通報され、救急車の要請や緊急連絡先への連絡ができます。



本体とペンダント式の子機があります

評価 避難行動要支援者名簿 災害発生時の備えと機能は

作成委託料 7万9000円

Q 名簿の作成の手順は。

A 災害発生時に備えるため、要介護者・障害者・一人で避難することが困難な方で「届出書兼同意書」の提出者を「避難行動要支援者名簿」に登録します。それを元に避難経路等を示した個別計画書を作成し、毎年、本人や家族に確認し更新しています。

Q 地域ごとの人数や名簿の活用は。

A 名簿に登録いただいている方は、全体で537人です。このうち支援者がいないとして登録されている方が72人います。内訳は、小川地区が31人、大河地区が15人、竹沢地区が14人、八和田地区が12人です。区長や民生委員・児童委員、関係機関で共有し、有事の際に災害から要支援者を守るために役立てています。



9月熊本市に災害支援で派遣された町職員の豊田さん

評価 期待 公共施設の総合管理 最適な施設配置の実現を

公共施設等整備基金積立金 1億5000万円

Q 公共施設等総合管理計画期間は30年。現在の進捗は。

A 令和26年までに公共施設の延床面積を58％削減する計画で、令和7年3月31日時点の進捗率は約3％です。

Q 廃校となる学校施設を残したいという意見を聞くが。

A 地域住民に対し現状を理解してもらえるよう努めながら進めていきます。

Q 前年度の4000万円と比べて大幅な積み立てをしたが。

A 今後予定される総合福祉センターの集約再整備と新学校給食センター等の施設整備を優先し、基金に積み立てています。令和7年度末の残高は6億7559万円となりました。

若い世代の移住促進や企業誘致、廃止された施設などの売却等で財源確保を図ります。また、歳出改革による取組との両輪で、持続可能な財政運営を目指します。



奥田政策推進課長

評価 舗装修繕工事 計画的な町道の維持・修繕を

事業費 3471万7000円

Q 工事箇所は。

A 令和7年度は次の3路線で舗装修繕工事を実施しました。
①町道118号線（警察官舎付近）約151メートル
②町道119号線（柳町橋付近）約397メートル
③町道122号線（本一交差点から踏切まで）約255メートル。

Q 町民から「道路を直してほしい」という要望は多いが、選定には一定の決まりはあるのか。

A この事業は「公共施設等適正管理推進事業債」を活用しています。そのため「舗装修繕個別施設計画」を策定しなければならず、その計画を作る際に「路面性状調査」を実施し、舗装の状態（ひび割れ・わだち）を数値化して、優先順位をつけて工事を実施します。現在は、令和2年度に個別施設計画を策定し、令和3年度から工事を実施しています。



町道122号線の舗装修繕工事。きれいな道で、事故を防ぐ効果も

9月定例会の会議録は令和8年12月上旬から見られます。二次元コードからインターネットで［小川町議会 会議録］と検索

知っておきたい！この数字

Pick up!

避難行動要支援者 登録者数
537人

公共施設等総合管理計画 達成率
3％

小川町議会だよりは 見出しにコダワル！ 内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

つづく

期待 評価

起業創業等支援事業費
町なかのにぎわいの創出を

事業費 516万8000円

Q この事業の目的は。

A 町内における商業の活性化を図り、町内のにぎわいを創出することが主な目的です。町内事業者の販路拡大、新規店舗の増加、空き店舗の解消、地元高校生の起業意識向上など、多角的な視点で事業を進めました。

Q 各取組の成果は。

A 令和7年度については、前年度から継続して実施している「小川高校起業体験プログラム」と「空き店舗利活用事業」に加えて「街中周遊デジタルスタンプラリー」と「道の駅出店支援補助金」を実施しました。

これら4つの事業は、道の駅リニューアルに合わせ、県の補助金（ふるさと創造資金）を活用して実施しています。この取組を通じて、若者の起業に対する意識の醸成、空き店舗の利活用、町内事業者の販路拡大、町外からの誘客など、地域経済の活性化につながる一定の成果が得られたものと考えています。



町なかへの周遊に一定の効果!?

評価

おがわ野菜のプロモーション
おがわンブランドのPR活動は

委託料 50万円

Q 事業の実績は。

A おがわンブランドのPR活動として、マルシエやフェス等への出店や、PR誌「オガワンプレス」を作成しました。

令和7年4月19日、川越オーガニックマルシエに出店し、おがわンブランドのPR活動を行いました。令和7年9月6日には「おがわんプロジェクト隣人祭り」を開催し、プロジェクトに関わる農家・飲食店・町民が一同に集い、事業の理解と広がりに一定の成果を上げました。また、オガワンプレス（VOL・10）を制作し、PR活動を行いました。

Q 令和8年度「おがわん10周年記念プロモーション」への関連は。

A おがわンプロジェクト開始から10周年を迎えるに当たり、埼玉県のふるさと創造資金を活用し、これまでの活動に加え、農業体験ツアー等にも取り組む予定です。



小川町産野菜を食卓に！ 川越オーガニックマルシエでPR

評価

第4次「生涯学習推進計画」
学び続けるための仕組みづくりは

委託料 191万2000円

Q 計画のポイントは。

A 作成の過程で実施した町民や団体アンケートを分析し、4つの取組を設定しました。

①学びにつながるきっかけづくり
②多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実
③学びを活かせる仕組みづくり
④学びを豊かにする環境づくり

です。教育行政重点施策の各施策項目と関連づけることで、一体化した展開に努めます。

Q 計画の進捗はどのように評価するのか。

A 総合振興計画に位置づけられた指標に加えて「定量目標」を設定し、毎年点検していきます。具体的には、令和12年度を達成年度として、電子図書館の登録者数100人、和紙マラソンエントリー者数3000人などを目指します。



目指せ！ エントリー3000人。起伏に富んだ冬の小川路

期待

移住サポートセンター
ニーズにあった物件の確保を

事業費 552万1000円

Q 移住の実績は。

A 令和5年度31組58人、6年度41組76人、7年度35組65人です。

Q 事業の課題は。

A 事業を展開していく中で課題の一つが、移住希望者のニーズにあった物件の確保です。町内不動産業者などが扱っている物件や町内に空き家等を所有している方からの情報を基に、物件の情報収集をしています。令和8年度は、各行政区にアンケートを実施し、空き家の状況について把握を行っています。

Q 新たな手立ては。

A 先輩移住者との交流や、移住者同士の交流会を実施するなどサポートを行います。


移住者同士の交流。活発な情報交換で小川町への理解が深まりました

小川町議会だよりは 写真にコダワル！ 写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション（写真説明）も工夫します。

次ページは「条例制定の質疑」ほか

条例の制定・改正

柔道整復にかかる窓口払いの改善
福祉3医療費📖支給制度の充実へ

Q この条例制定に至る背景と実際の手続は。

A 令和7年10月に埼玉県柔道整復師会東松山支部からの要望があり、対応の検討をしてきました。受給者の負担感の軽減や利便性の向上が期待されることから方向性を決定し、町内11の施術所について意向を確認してきました。受給者による新たな手続の必要はありませんが、初診時に委任状の記入が必要になります。


整骨院での治療は長期間に及ぶことも。現金を持たずに通院できるので助かります

Q 町民が近隣の市町で治療を受ける場合については。

A 寄居町・ときがわ町・吉見町・滑川町・嵐山町は行っています。東松山市は検討中です。

指定管理者の指定

小川・おがわ西・八和田学童クラブの運営
保護者の負担軽減へ

Q シダックス大新東ヒューマンサービス(株)の選定において、どのような提案内容を評価したのか。

A 選定委員会において、職員の人材育成や充実した研修体制、職員の継続雇用や労働環境の整備を重視し、職員の定着率向上等の安定した雇用体制などを評価しました。

Q 小学校の再編と並行し、令和11年度には学童クラブが2施設に集約される。学童クラブ全体の町の財政負担の見込みは。

A 学童クラブの指定管理化は、保護者負担の軽減が期待できるので計画的に進めてきました。将来的な事業費の見込みは、人件費や物価上昇が見込まれますが、施設の集約化により管理費の縮減につながるものと考えます。


思い出の「トンネル山」の跡地で着々と工事が進む小川小学校の前庭。年度内の完成が待ち遠しい小川学童保育室

令和8年度補正予算

教育委員会の先進地視察
確かな学力の育成のため秋田県へ

Q 教職員等先進地視察に56万円が計上された。その詳細は。

A 町では学力向上プロジェクトを推進し、確かな学力の育成に向けて授業改善と指導力向上に取り組んでいます。しかし、全国学力学習状況調査結果からは、学力向上や主体的な学びなど改善すべき課題があります。秋田県では学力向上の検証改善サイクルなど組織的継続的に取り組み、その施策や手法、教育委員会と学校が連携した支援体制について研修を深めます。今後、秋田県東成瀬村へ、小中学校の教員7人、校長1人、教育委員会2人計10人で視察します。

道の駅　桜の木の伐採

Q クビアカツヤカミキリにより被害のあった桜に薬剤を散布しても改善できなかったのか。また、伐採後の対応は。

A 桜の木の被害確認後、すぐに薬剤を注入し成虫が外部に出ないように網をかけました。専門業者に確認したところ改善は見られないことが判明し、落下や倒木等のおそれがあるため速やかに伐採をするものです。伐根は行わず、植え替えについては樹木の種類を含め検討します。

スクールバス乗降管理システム

Q システムの概要は。

A 車両にシステムを設置し、乗降時にICカードをかざすことで、運転士・保護者・学校が児童の乗降を確認でき、不安の解消につながります。また、乗車予定の児童が乗っていない場合にも確認ができます。

Q 次年度以降、システムの運営費や維持費はかかるのか。

A 環境構築、システム利用料とデータ整理等で年間60万円程度必要になります。


東小川地区からのバス通学。乗降のチェックが人からシステムへ

次ページは「一般質問」ほか

小川町議会だよりは 町民登場にコダワル！ 広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます。

全質問項目は小川町ホームページから見られます。議会だよりでは議員ごとに要約版で掲載。全文（会議録）は令和8年12月上旬に公開予定です。

8の視点 一般質問

町の課題解決のために、DXの推進、高齢者施策、コンパクトシティの実現、持続可能なまちづくりをはじめ、一方では小京都らしい町並みや文化財の保護等、様々な提言がなされた。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



P.11 子育てDX　P.12 町並み・景観　P.13 害虫対策　P.14 おがわ学
P.11 ごみ対策　P.12 高齢者支援　P.13 文化の継承　P.14 文化財保護

子育てDX



田端良成（たばたよしなり）議員が町に問う！

電子版母子手帳の利点は

答弁 スマートフォンで記録を管理します

Q 電子版母子健康手帳の利点は。

A **子育て支援課長**　従来の紙の母子健康手帳をデジタル化し、スマートフォン等で妊娠・出産・育児に関する記録を管理・閲覧できる仕組みです。

Q 具体的な導入予定は。

A **子育て支援課長**　国の環境整備の動向を注視しながら、住民の利便性向上と自治体間の情報連携の観点から、情報収集及び研究を進めます。

Q 現在実施されている子育て支援におけるデジタル活用例は。

A **子育て支援課長**　「小川町おやこ手帳」により、予防接種、医療機関、助成制度等の情報を提供しています。スマートフォンで母子手帳の記録を管理でき、子育て情報を個別に配信しています。

Q 電子版母子健康手帳の利点は。

A **子育て支援課長**　従来の紙の母子健康手帳をデジタル化し、スマートフォン等で妊娠・出産・育児に関する記録を管理・閲覧できる仕組みです。

Q 具体的な導入予定は。

A **子育て支援課長**　国の環境整備の動向を注視しながら、住民の利便性向上と自治体間の情報連携の観点から、情報収集及び研究を進めます。

Q 現在実施されている子育て支援におけるデジタル活用例は。

A **子育て支援課長**　「小川町おやこ手帳」により、予防接種、医療機関、助成制度等の情報を提供しています。スマートフォンで母子手帳の記録を管理でき、子育て情報を個別に配信しています。

また、令和7年度から保育システムを導入し、保育士は電話応対や連絡帳作成の負担が大幅に減少しました。保護者もスマートフォンから開園時間等を気にすることなく欠席連絡が可能になりました。保育士の業務負担の軽減と、保護者の利便性向上を同時に実現して、大変喜ばれています。



電子版なら子どもの成長を家族で共有

ごみ対策



髙橋（たかはし）さゆり議員が町に問う！

4月から分別変更で周知は

答弁 広報紙やホームページ等で周知しました

Q 令和8年4月からプラスチック類の分別方法が変更された。町民に対して十分な周知は。

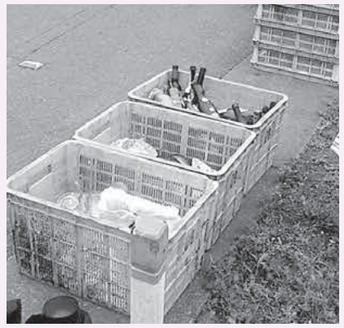
A **環境農林課長**　広報おがわの令和7年11月号及び令和8年3月号への掲載や町ホームページ、環境美化推進委員を通じ資料配布など、多方面にわたる周知に努めました。

Q 転入者にはごみ出しルールをどのように周知しているのか。

A **環境農林課長**　転入者への周知では、転入手続の際に、ごみ収集日程表や「家庭から出るごみと資源物の分け方・出し方」及びごみ分別アプリ「さんあ～る」の案内チラシを配布しています。外国の方への多言語対応として、分別アプリは5言語に対応しています。

Q ごみ集積場を管理している地域からの相談に対して、町はどのように対応しているのか。

A **環境農林課長**　状況に応じた対応を行っています。集積場に出された不適切なごみのうち、分別可能なものや収集日の誤りについては、原則として環境美化推進委員に協力を仰ぎ、分別や出し直しの指導を依頼することで、地域内での問題解決に努めています。


整頓されたごみ集積場

庭の片隅に秋茗荷（あきみょうが）の花を見つけました。
今年は少し遅いようです。
（M・Eさん　70代）



あなたが見つけた小さい秋は？

Vol.35 Mini Interview
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」
P.14までつづきます！

つづく

小川町議会だよりは 情報にコダワル！ 用語解説はじめ関連情報への二次元コードなど「読者目線」の編集を心がけます。

一部事務組合議会からの報告

比企広域市町村圏組合

高坂分署新庁舎が開署しました



- **令和8年度 補正予算（全5会計）：原案可決**
  一般／消防／斎場・霊きゅう自動車／介護認定・障害支援区分審査会／公平委員会
- **令和7年度 歳入歳出決算（全5会計）：原案認定**
  歳入決算総額　45億8111万6000円
  歳出決算総額　43億5298万9000円（内、町負担分 5億6105万9000円）

小川地区衛生組合

中爪ごみ焼却場の解体が進んでいます

- **令和8年度 補正予算：原案可決**
  令和7年度の繰越金1億5556万9000円を令和8年度の予備費に充当。
- **令和7年度 歳入歳出決算：原案認定**
  歳入決算額　17億7545万7000円
  歳出決算額　15億8988万6000円（内、町負担分 4億4898万5000円）

※ごみ・し尿ともに減少しているが、処理経費が増加し負担金は増加傾向にある。

公開します 審議した主な議案

平成20年3月議会以降の審議議案の一覧と議決結果を議会ホームページで公開しています

○…賛成　×…反対　※一印は議長。議長は賛否同数の場合のみ「議長決裁」として採決に参加します

議案名＼議員名	田中立男	関根慶則	田端良成	岡部久志	稲村壌治	鈴木秀尚	五十嵐康博	笠原規弘	大戸久一	田中照子	笠原英彦	髙橋功人	髙橋さゆり	山口勝士	島﨑隆夫	髙瀬勉	審議結果
町学童クラブの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
令和8年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
令和7年度決算の認定 一般会計 歳出111億4321万円	×	○	×討論	○討論	○	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○討論	－	認定
令和7年度決算の認定 国民健康保険特別会計（事業勘定）歳出35億7472万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定
令和7年度決算の認定 後期高齢者医療特別会計 歳出5億8361万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定
令和7年度決算の認定 介護保険特別会計（保険事業勘定）歳出34億8842万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定

町並み・景観



髙橋功人（たかはしいさお）議員が町に問う！

町の魅力となる可能性は

答弁 **魅力を発信する活動を継続します**

Q 10年後・20年後の町並みの景観は、町の顔として大きな魅力の一つとなる可能性があるが。

A **都市政策課長**　「小川町らしさ」を実感してもらう重要な要素であり、今後も歴史的な町並みの魅力を発信する「景観まち歩き」などの活動を継続していきます。

Q 和紙体験学習センターなど残すべき建物についての検討は。

A **にぎわい創出課長**　令和元年策定の「和紙の有効活用による町の活性化計画」では、和紙産業施設としての整備・活用を基軸として文化的価値を考慮し再整備を検討する方向性を示しています。令和8年策定の「小川町第6次総合振興計画」では、手漉き和紙技術者の育成をするとともに、和紙製造技術の継承と普及による和紙産業の発展を目指し、再整備を推進するとしています。

Q 具体的なスケジュールは。

A **にぎわい創出課長**　まず、再整備基本計画の策定を始めていきます。雨漏りなど建物の老朽化が深刻な状況ですので、早期に実現できるように努めていきます。

●その他の質問

・国旗・町旗の扱いは



整備が待たれる和紙体験学習センター

高齢者支援



山口勝士（やまぐちかつし）議員が町に問う！

公会堂のトイレ洋式化を

答弁 **各施設整備の状況把握に努めます**

Q 高齢者の身近な活動場所である公会堂等の「トイレ洋式化」を。また、段差の解消などに支援は。

A **防災地域支援課長**　高齢者が集う公会堂等の環境整備は、喫緊の課題です。現在、町では各行政区の要望を踏まえ「コミュニティ施設等整備事業補助金」や「自治総合センターコミュニティ助成金」を交付し、施設改修を支援しています。今後、公会堂等の施設整備の状況把握に努め、誰もが気軽に「出かけ」「集い」「活動できる」環境づくりを推進し、高齢者が主役として輝ける元気な町づくりに取り組みます。

Q 公会堂等のトイレに、尿漏れパッド・紙パンツの無料配備を。

A **防災地域支援課長**　高齢者が外出する際の尿漏れ等に対する不安の軽減は、地域活動への参加や、閉じ籠りの防止につながるものと捉えています。一方で、衛生管理や保管場所、種類やサイズの選定、使用済み用品の処理、費用負担などに様々な課題があります。他自治体の取組状況の把握や、関係機関の意見を確認し、高齢者が安心して地域活動に参加できる施策の展開に努めていきます。



多くの皆さんの利用で交流が進む地域の公会堂



たわわに実った柿の橙色とみかんの黄色、久々に晴れた空の鰯雲（いわしぐも）。
里山の秋の色でした。（M・Kさん　76歳）



保育園児が保母さんとお散歩。
ドングリを拾って喜ぶ姿、微笑ましいですね。（Y・Yさん　70代）

害虫対策



笠原規弘（かさはらのりひろ）議員が町に問う！

Q 桜や梅などの美しい花をクビアカツヤカミキリから守り、時には植え替え、全力で町民の思い出の地を守るべきではないか。

A **町長**　日本の原風景の桜や梅などはなくてはならないものです。実態把握と害虫対策に取り組み、学校や公園などの公共施設はできる限り桜などの植樹に努めます。私有地については所有者等のご理解を得て原風景を残していきます。

駅北口と駅北側整備事業

Q 関係者は当町の意思表示を待っている状態と捉えていいのか。

A **都市政策課長**　小川高校・埼玉県教育局・各鉄道会社は「事業化に向けた町の明確な意思表示と具体的な事業計画があった際には協力する」と考えを示しています。

桜や梅の木の植え替えを

答弁 **できる限り植樹に努めます**

Q 3年前の定例会にて、駅北口の周辺整備に関し「諦めることなく考えていく」と答弁されたが、この考えに変わりはないか。

A **町長**　考えに変わりはありません。今後も諦めることなく継続的に取り組み、好機をうかがっていきます。

●その他の質問

・労働力が不足する社会へ向けて



桜には思い出のシーンがいっぱい

文化の継承



鈴木秀尚（すずきひでなお）議員が町に問う！

伝統文化の継続に支援は

答弁 **継続させていく方策を検討します**

Q ぴっかり千両や七夕踊りの歌詞には、当町の特色や誇りがある。継承についての考えは。

A **学校教育課長**　当町独自の貴重な文化なので、次の世代に受け継いでいくことが大切です。学校教育の中でもより効果的な学びになるよう研究します。また、盆踊りについては、地域行事の中で参加しやすい機会を提供し、文化を継承していくことが大切です。

Q 七夕まつりの飾りが減ってしまったが、充実に向け今から対策を練る必要があるのでは。

A **にぎわい創出課長**　飾りは減少していますが、新たに飾りつけに取り組む学校や店舗もあります。様々課題はありますが、和紙を活用した伝統ある祭りを絶やさないよう、商工会と連携しながら、多くの皆さんの協力により、課題解決に努めていきます。

Q 下里の獅子舞は、コロナ後、縮小しつつも復活したが、継続の危機にある。町としての支援は。

A **生涯学習課長**　毎年補助金を交付し、県の助成金で獅子舞の装束を新調しました。今後も保存会と連携して継続・発展させていく方策を検討します。



伝統あるささら獅子舞にも少子高齢化が



味覚の秋を見つけても、今年は高値で手が届きません。大好きな果物が恋しいです。（S・Yさん　53歳）



澄み渡る秋晴れの下、実りの稲刈りを手伝った。昔を思い出し、握る鎌の手に力が入る。（U・Mさん　77歳）

次ページは「一般質問」「16人の一歩」

小川町議会だよりは キャプション（写真説明）にコダワル！ 単なる説明ではありません。応援や問題提起など「魂」を込めてお伝えします。

一般質問

おがわ学



田中照子（たなかてるこ）議員が町に問う！

現在の取組状況は

答弁 発達段階に応じ系統的に進めています

Q 地域を愛し、地域で生きていこうとする態度の育成に「おがわ学」は大切である。取組状況は。

A **学校教育課長**　現在、テキストを基本教材として活用し、教育課程に位置づけながら、発達段階に応じて系統的な学習を進めています。今後も、学習内容の充実改善を図り、地域への愛着を深め、未来を担う人材の育成につながるよう、取組を推進します。

Q 当町は郷土学習の先進地域である。発表の機会があれば手を挙げてほしいが。

A **教育長ほか**　「おがわ学」に取り組む当町は郷土学習における先進地域の一つです。他の自治体から取組を聞かせてほしいとの依頼もあります。内容や趣旨を踏まえ適切に対応します。

和紙体験学習センター

Q 登録有形文化財への方向性は。

A **町長ほか**　和紙職人、産業に関わる方、歴史的建造物保存や活用に関しての専門家に意見を求め、産業施設としての整備活用を基軸に、再整備基本計画を策定します。その中で登録への申請を検討していきます。



老朽化が進む和紙体験学習センター

文化財保護



島﨑隆夫（しまざきたかお）議員が町に問う！

新たな文化財の指定は

答弁 調査等が済んでいない候補は5件あります

Q 新たな文化財の指定と解除は。

A **生涯学習課長**　町史編さん事業時のリストに掲載され、文化財保護委員会の調査・検討・協議が済んでいない候補は5件あります。また、所有者の管理や保護措置による指定解除を検討している事例はありません。

Q デジタルアーカイブ📖の状況は。

A **生涯学習課長**　町史編さん事業や文化財業務で収集した写真フィルムの5%をデジタル化しています。また、古文書や行政文書を撮影したマイクロフィルムは、全体の2%となっています。

Q 文化財所有者への予算確保は。

A **生涯学習課長**　指定文化財の修繕に多額の経費を要する場合は、予算の範囲内で補助金を交付しています。また、天然記念物や史跡内の倒木等の緊急時には、補正予算で対応しています。

Q 町民や事業者から寄附などの協力は得られないか。

A **生涯学習課長**　企業版ふるさと納税や民間財団の助成事業など、財源確保の手法を研究します。

●その他の質問
・自然環境の維持と里山整備を
・サウンディング調査で活性化を



町から補助を受けて剪定した八和田神社の大杉

📖 デジタルアーカイブ…歴史的資料、美術品や地域の文化財などをデジタル形式で保存し、データベースとして管理・公開すること。

赤とんぼ舞う中の最後の草刈り。秋が短くなっても、変わらぬ季節の便りです。（K・Tさん　57歳）

シリーズ

16人の一歩!! 進み続ける議会 Vol.13

先の部分答申（常任委員会は現行の3から2に再編。円滑な移行・運営に向けた対応を図ること）に伴い、来る14人議会及び「2常任委員会制」を見据えた取組がスタート。また、今年度から本格稼働した「広聴活動」も、次回の開催が決定しました。

2常任委員会制への試行
総務・経済建設で「連合審査会」を実施！

令和7年度一般会計の決算における常任委員会審査を一部、合同で実践しました。総務及び経済建設常任委員会では、定員に2人追加し、7～8人体制でしっかりとチェック。委員会の開催時間なども含めて、モニタリングしました。

※その他の諮問項目については8月6日に答申。



来期の「14人議会」に向けた取組が進む

11月15日に開催決定　若者が考える
「住みたいと思える小川町」とは？

第2回地区懇談会の主役は、若者です。当町をフィールドに活躍する商工会青年部をはじめ、若者未来会議・地域おこし協力隊・成人式実行委員会から、総勢20人の皆さんが参加予定。町の未来を一緒に語ります。



盛会だった第1回地区懇談会。次回も乞うご期待！

3常任委員会の調査研究
カラーが映える「実践的な活動」を展開！

任期最終・集大成となる各委員会の研究テーマが決定しました。今後、先進地視察や各種勉強会・フィールドワークを経て、行政課題の解決に委員会の立場からアプローチ。住民サービスの向上に向けて、専門性を生かした取組が始動します。

総務常任委員会

テーマ
人口減少に負けない「人材戦略」について

目的　町職員及び地域の担い手の確保・育成・活用等による持続可能なまちづくりに資するため

経済建設常任委員会

テーマ
持続可能な行政サービスを提供するための都市整備の在り方について

目的　人口減が進む中、全ての世代が住みやすいまちづくりに資するため

厚生文教常任委員会

テーマ
高齢者のウェルビーイングを大切にした共生地域の実現について

目的　高齢者がいきいきと活動し、支え合う地域づくりに資するため

次ページは「わたしのまんなか」ほか

わたしの「まんなか」

伝統と歴史の継承と



小川町立東中学校　校長　沼野　友宏さん

校長の欲目ですが、生徒は明るく人懐っこい、教職員は情熱に溢れています。登下校時、北階段下に立っていると地域の方から「挨拶がよくできますね」など、学校行事等で訪れた方から「きびきびした動きで、素晴らしかった」「歌声に感動しました」などお褒めの言葉をいただくことがあります。学校行事などに取り組む姿勢は、生徒も教職員も一体となって素晴らしいと思っています。

反面、自転車の乗り方で「並進していて危ない」「一時停止で停止しないですね」と指摘されることもあります。まだまだ、課題はあります。生徒のよりよい成長は、保護者や地域の方々の協力があればこそと思っています。

令和12年度に小川中学校と統合し、61年の歴史に幕を閉じます。それまでの間、東中の伝統と歴史の継承だけでなく、よりよい学校を目指し、生徒・教職員が一体となり、努力してまいります。



団結と友情を深め合った体育祭。「３色」揃って「はいチーズ」

次の定例会は

12月1日(火)～　午前10時 開会予定

本会議や委員会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議当日、役場３階議会事務局にお申し出ください。

日程は変更になる場合があります。
詳しくは小川町ホームページをご覧ください。

議場で防災！ シェイクアウト訓練を実施



定例会初日「防災の日」でもある９月１日に、議場で「シェイクアウト埼玉」を実施しました。議員・執行部が一斉に「まず低く、頭を守り、動かない」の安全行動を実践。災害時に迅速かつ適切な行動が取れるよう、防災意識の向上に努めています。

埼玉県ホームページ

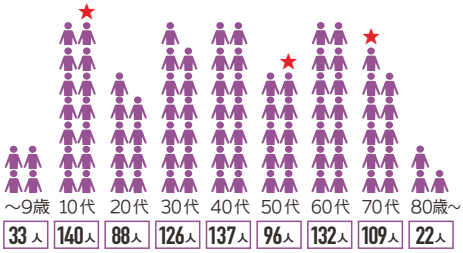
議員の聴く×つなぐ

議員がインタビューした町民皆さんの数

※2016年5月リニューアル号(No.79)以降の合計人数

883人

（★印は今号取材）





● 今号の表紙 ●

東中プライド

学校行事の大成功。「原動力は学年を超えた仲の良さ」と胸を張る生徒会役員。

編集後記

今号は9月の決算議会を経て皆様の関心のあること、またお伝えしたいことなどを特集いたしました。できるだけ分かりやすくまとめたつもりですが、紙面の都合上伝えきれないこともあったかと思います。ご意見、ご感想などをお寄せいただけたら幸いです。（関根慶則）

発行責任者：小川町議会議長　髙瀬　勉

編　　集：議会広報発行特別委員会
委員長　髙橋功人　副委員長　鈴木秀尚
委　員　田中照子・笠原規弘・関根慶則
田中立男・田端良成

UD FONT

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています

編集・発行：埼玉県小川町議会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地
TEL 0493-72-1221　FAX 0493-74-6877